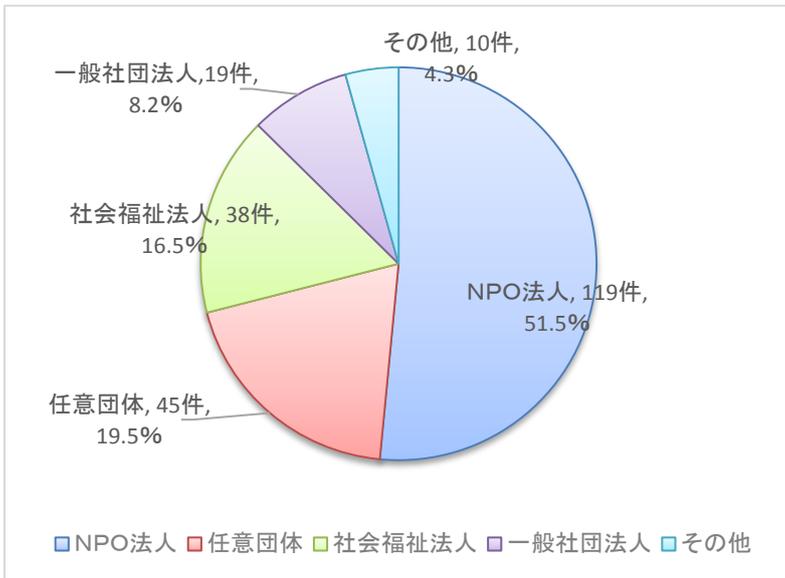


「赤い羽根福祉基金」第1回（平成28年度）助成 応募状況（概要）

中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」第1回（平成28年度）助成に応募のあった、231件の応募主体別、応募事業別、応募部門別などの概要は次のとおりです。

（1）応募主体別

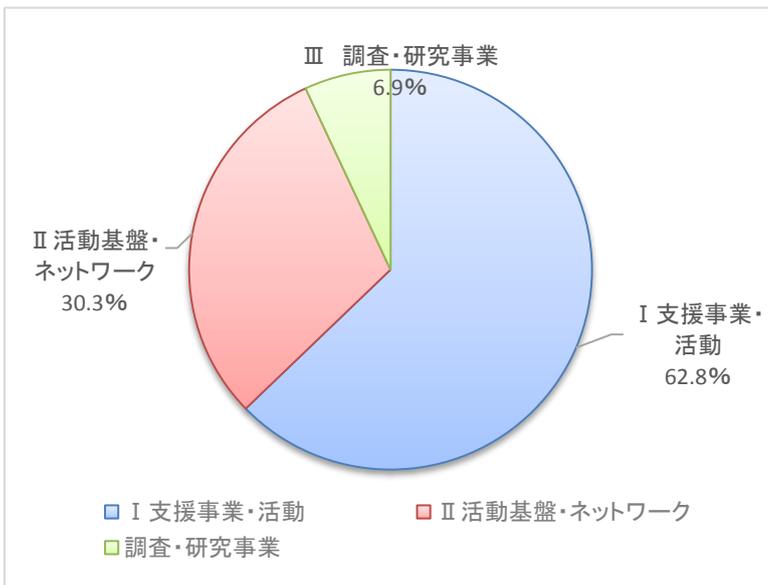


団体種類	申込数	
NPO法人	119	51.5%
任意団体	45	19.5%
社会福祉法人	38	16.5%
一般社団法人	19	8.2%
その他（※）	10	4.3%

（※）公益社団法人、公益財団法人、一般財団法人、大学研究室、生活協同組合、社会福祉法人・一般社団法人の共同事業 等

応募主体として最も多かったのはNPO法人（51.5%）でした。次いで任意団体（法人格を有しない団体）（19.5%）、社会福祉法人（16.5%）となっています。

（2）応募事業別

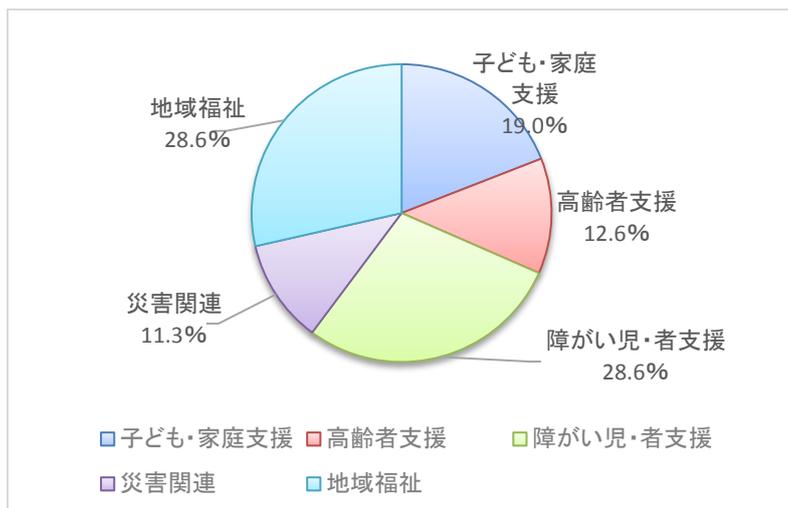


部門	申込数	
I 支援事業・活動	145	62.8%
II 活動基盤・ネットワーク	70	30.3%
III 調査・研究事業	16	6.9%

（※）複数事業での応募・未記入は事務局で1事業に整理

応募事業別では、「I 支援事業・活動」（62.8%）が最も多くなっています。

(3) 応募部門別

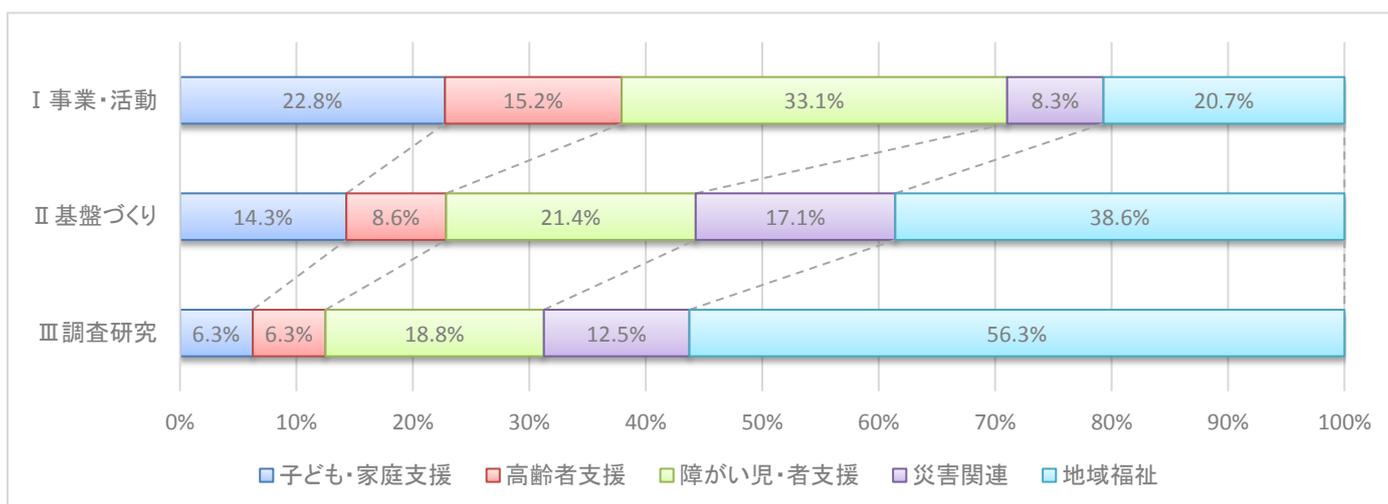


部門	申込数	
子ども・家庭支援	44	19.0%
高齢者支援	29	12.6%
障害がい児・者支援	66	28.6%
災害関連	26	11.3%
地域福祉	66	28.6%

(※)複数部門での応募・未記入は事務局で1部門に整理

部門別では、「障害がい児・者支援」(28.6%)、「地域福祉」(28.6%)が多くなっています。

(4) 「応募事業」×「応募分野」別



応募事業 \ 応募分野	子ども・家庭支援	高齢者支援	障害がい児・者支援	災害関連	地域福祉
I 支援事業・活動	33	22	48	12	30
II 活動基盤・ネットワーク	10	6	15	12	27
III 調査研究	1	1	3	2	9

応募事業と応募分野別による状況で見ると、応募数では応募事業「I 支援事業・活動」における、応募分野「障害がい児・者支援」の応募が最も多くなっています。

また、応募事業「I 支援事業・活動」では、応募分野「障害がい児・者支援」の割合が最も高いのに対して、「III 調査研究」では、応募分野「地域福祉」の割合が最も高くなっています。